科目名 (科目コード)	幼児理解と教育相談の理論及び方法【1237】	配当年次	1	担当教員	児玉陽子	対象区分			
		単位数	2						
授業のねらい	幼児を理解するためのさまざまな視点を学ぶ。また、環境としての保育者に必要な自己理解と基本姿勢について考える。さらに、自己と他者への理解を深め、カウンセリングマインドを学び、幼児と保護者のための教育相談に必要な基本姿勢を身に付ける。								
	第 1 章　保育における「子ども理解」とは 保育における「まなざし」「行為の意味」「子ども理解」について考える 第 2 章　子どもを取り巻く環境の理解 子どもの発達における環境の影響についての理解 第 3 章　子ども理解における発達的観点 子ども理解における基本的知識としての発達と発達観 第 4 章　子ども理解における保育者の姿勢とカウンセリングマインド 子どもとの関係性とカウンセリングマインドに基づいた深い理解 第 5 章　保育における観察と記録の実際 保育の場での観察と記録の必要性 第 6 章　記録にもとづく保育カンファレンス 記録とカンファレンスの実際 第 7 章　保育における個と集団の関係の理解と援助 個と集団の育ち、保育者の理解と関わり 第 8 章　一人一人の子どもの特別なニーズの理解と援助 個々のニーズの理解と支援の実際 第 9 章　保護者理解と援助の基本 子ども理解のための家庭との連携、保育の専門性を生かした子育て支援 第10章　「子ども理解」を深めるための保育共同体 チームとしての保育共同体とは まとめ　「子ども理解」のための自分自身の課題と目標についての考察								
教科書	「幼稚園教育要領」文部科学省　「保育所保育指針」厚生労働省 「認定こども園教育・保育要領」内閣府・文部科学省・厚生労働省								
持参物									
評価方法	リポートおよび試験								